

伊地知貞馨著
沖繩志

一名琉球志

二

ル 4
281
2



東京
日就社
銀座一丁目
拾三番地

門凡呂
號 281
卷 2

沖繩志卷二

官職志

官職部

薩摩

伊地知貞馨 著
重野安繹 校

評定所

庶務

總裁處分ス乃チ政府ナリ

物奉行所

分テ三トス

所帶方

會計一切ノ事及ヒ各間切諸島ノ產物出納

、事ヲ掌ル

給地方

知行高役知及ヒ旅費米錢出納ノ事ヲ掌ル
用意方

非常臨時ノ用度及ヒ山川堤防豫備等ノ事
ヲ掌ル

申口方

鎖之側雙紙庫理泊地頭三局ノ総稱ナリ佗國
ノ照會内外官ノ監督及ヒ賞罰ヲ擬定スル等
ノ事ヲ掌ル

書院方

公事ノ禮式ヲ掌ル

近習方

藩王朝夕ノ諸用ヲ辦理スルヲ掌ル

下庫理

諸規則及ヒ城中ノ監督ヲ掌ル

系圖座

系譜編輯ヲ掌ル

大與座

生死ノ申告及ヒ戶籍検査ノ事ヲ掌ル

總橫目方

風俗ヲ糾シ非違ヲ觀察スルヲ掌ル

寺社座

社寺ノ事ヲ掌ル

用物座

内地及ヒ清國ノ貢品調度ノ事ヲ掌ル

納殿

樂種類ノ出入及ヒ近習諸用ヲ辨理スルヲ掌

ル

蘇鐵植付方

鐵蕉播殖ノ事ヲ掌ル

厩役

官馬ノ畜養ヲ掌ル

錢藏

官錢ノ出納ヲ掌ル

料理座

年中ノ禮式使者及ヒ駐劄官真ノ饗宴等ニ飲

食調理ノ事ヲ掌ル

大臺所

後房朝夕ノ事ヲ辨理スルヲ掌ル

右諸官署首里城内ニ在リ
平等方

刑罰ヲ處分シ訴訟ヲ裁決スルヲ掌ル罪ヲ犯
ス者アレハ筑佐事ヲ遣シテ逮捕ス

高所

藩庫收入ノ石高ヲ主管シ及ヒ内地清國へ航
渡ノ諸船ヲ辨理スルヲ掌ル

田地方

各間切ノ耕作ヲ勸督スルヲ掌ル

勘定座

諸官署出納計筭ノ事ヲ掌ル

山奉行所

山林ノ事ヲ掌ル

收納座

年貢諸收入物品ヲ出納スルヲ掌ル

普請奉行所

官廨社寺管繕ノ事ヲ掌ル

小細工奉行所

官服裁縫器具製造ノ事ヲ掌ル

尾奉行所

屋瓦磁器陶造ノ事ヲ掌ル

貝搨奉行所

諸器髹漆等ノ事ヲ掌ル

鍛冶奉行所

銅鐵諸器鍛冶ノ事ヲ掌ル

米藏方

米穀ノ出納ヲ掌ル

座檢者方

各局ノ米錢諸品ヲ點檢スルヲ掌ル

垂櫃方

各局ノ米錢諸品ヲ點檢スルヲ掌ル

植櫃製蠟ノ事ヲ掌ル

右諸局首里城外ニ在リ

紙座

製紙ノ事ヲ掌ル

砂糖藏

收買砂糖ヲ出納スルヲ掌ル

船手藏

官船ヲ造繕シ及ヒ船具ヲ出納スルヲ掌ル

仕上世座

内地貢納等ノ事ヲ辦理スルヲ掌ル

給地藏

諸役知給知米ノ出納ヲ掌ル

宮古藏

宮古八重山ノ貢物ヲ出納スルヲ掌ル

用意藏

臨時支用ノ物品ヲ出納スルヲ掌ル

里主所

那覇ノ事ヲ處分スルヲ掌ル

親見世

那覇ノ諸用ヲ辦理スルヲ掌ル

惣長史方

右諸局那覇ニ在リ

清國ノ事務ヲ辦理シ及ヒ久米村ノ事ヲ處分

スルヲ掌ル

頭取方

泊村ノ事ヲ處分スルヲ掌ル

番所

各間切ニ番所ヲ置ク下知役檢者地頭代以下
交番在役ニ農務山方風俗監督等ノ事ヲ議シ
年貢上納等ヲ催督ス

政府官員

評定所

攝政一人 王子之ニ任ス其人無レハ按司家ヨリ撰任シ其身一世王子ノ格位ヲ授ク

諸般事務ヲ惣轄ス

三司官三人

- 一人ハ給地方及ヒ諸山ノ事ヲ主任ス
- 一人ハ用意方及ヒ諸川ノ事ヲ主任ス
- 此二人每一月輪番シ一切ノ事ヲ擔任ス
- 一人ハ所帶方及ヒ諸間切諸島ノ事ヲ主任ス

但三人各主任アリト雖モ庶事協議ヲ經テ攝政ニ申稟シ決テ藩王ニ取ル

三司官ハ藩王自ラ其人ヲ撰ムヲ得ス諸官

投票擬定スルヲ以テ法トス

以上奏任官トス攝政ハ準四等三司官ハ準六等ナリ其任免ハ藩王奏聞シテ宣下アリ

筆者主取一人

筆者六人

物奉行所

物奉行三人

吟味役三人

二官各一員ヲ以テ三事ヲ分掌ス一ハ藏方

ノ收納物及ヒ諸島年貢等ノ事一ハ給地方

ノ石高計筭及ヒ船手一切ノ事一ハ用意方

ノ砂糖及ヒ山川堤防ノ事ヲ掌ル

申口方

鎖之側一人

日帳主取二人

系圖座及ヒ航清船舶ノ點檢解舟ノ載貨那

霸久米村諸島更番官吏ノ進止駐劄官負交

際國中ノ禮式風俗監督等ノ事ヲ掌ル

雙紙庫理一人

吟味役一人

内官諸局ヲ監督シ及ヒ地頭所知行褒賞等

ノ事ヲ掌ル

泊地頭一人

吟味役一人

外官諸局ヲ監督シ及ヒ泊村ノ事ヲ處分ス

ルヲ掌ル

平等方

平等之側一人

吟味役二人

職掌前二在り

右攝政ヨリ以下政府要路ノ官トス

間切官負

地頭一人

夫地頭一人

首里大屋子一人

大掟一人

南風掟一人

西掟一人

掟人負不定

右各間切ニ在リ地頭以下大屋子ニ至ル首里ヨリ更番シ大掟以下ハ土人ヲ撰用ス

官古八重山官負

在番一人

筆者二人

頭三人

首里大屋子官古五人

與人官古二十四人

大目差一人

大筆者一人

脇目差一人

脇筆者人負不定

目差官古三十二人

右在番以下大屋子ニ至ル首里ヨリ更番

シ與人以下ハ土人ヲ撰用ス

以上政府要路ノ官及ヒ各間切ニ島ノ長官
ハ必ス首里ノ門闕之ニ任シ平民ヨリ登庸
スルヲ無シ
赴任官負

東京

親方一人

附屬五人

從者十五六人

右親方以下毎一年ニ交代ス新年紀元天
長ノ三祝日ハ在勤長官参内シテ藩王ノ

賀表ヲ進奉ス

大坂

物奉行所屬吏二人

從者二三人

右毎一年ニ交代シ貢納及ヒ庶務ヲ辦理
ス

鹿兒島

物奉行所屬吏三四人

從者六七人

慶長役以來館ヲ鹿兒島府下ニ設ケ親方

以下數名更番在勤ス直管ト為リシヨリ
藏屋敷ト改稱シ物奉行所ノ屬吏毎一年
ニ交代シ蕃用ノ諸物品ヲ辨備ス

清國福建

進貢ノ時官吏ヲ派出スト雖モ赴任ニ非
ス因テ其人負等之ヲ貢獻志ニ附記ス

位階部

王子

藩王ノ叔父
及王子弟

正一品

按司

王族

從一品

親方

正從二品

三司官ニ任スル者功
ヲ積テ一品ニ至ル

親雲上

從六品ヨリ正三品ニ至ル

里之子親雲上

正七品

筑登之親雲上

從七品

里之子

正八品

若里之子

從八品

筑登之

正九品

筑登之座敷

從九品

仁屋

無品

平民

冠服部

冠帶

王子

帽紫綾五色花。簪金。袍紅。帶錦花。

按司

帽紫綾。簪金。袍綠。帶錦。

三司官

帽紫綾。簪金。袍深青。帶黃地蟠龍。功勞ヲ以テ。帽紫綾五色花ニ至ル者アリ。

親方

帽紫綾。簪金花銀莖。袍深青。帶黃地蟠龍。

親雲上（以下略）

帽黃綾若クハ黃絹。簪銀。帶黃地蟠龍ヨリ。雜色

花ニ至ル。（以下略）

里之子親雲上ヨリ里之子ニ至ルマテ

帽黃絹。簪銀。帶雜色花。

筑登之筑登之座敷

帽大紅縞紗。簪銀。帶雜色花。

平民

帽無シ簪ハ真鍮ヲ用フ功勞アル者ハ銀簪ヲ許ス

婦人ノ簪制略男子ニ同シ平民ノ婦人ハ玳瑁ヲ用フ

服

王子

禮式ノ時冬ハ綸子紗綾縮緬類夏ハ京蒲黃細上布

按司三司官親方

冬ハ紗綾縮緬夏ハ京蒲黃細上布

諸士

冬ハ棉布夏ハ芭蕉布在官者禮式ノ時冬ハ絹

布夏ハ京蒲黃細上布

平民

冬ハ棉服夏ハ芭蕉布絹布ヲ用ルヲ得ス

秩祿部

攝政

官祿合テ草高六百石二世三世マテ家祿三百石

四世以下遞減シテ百五十石百石八十

石四十石ニ至ル其人功勞アレハ祿ヲ増ス

王子

家祿三百石二世二百石三世以下遞減シテ

百五十石百石八十石四十石ニ至ル切勞ア
レハ禄ヲ増ス

攝政王子二世ヨリ按司家トナル

三司官

官禄合テ草高四百石二世三世マテ家禄八
家禄十石四世以下遞減シテ四十石三十石二十
石十五石ニ至ル

親方班申口役

官禄草高四十石家禄少キ者ハ二世三世マ
テ三十石四世以下遞減シテ二十石十五石

ニ至ル

以下官階ノ崇庫ニ從フテ俸ヲ給ス其俸草高三
十石ヨリ現米一石左右ニ至ル

凡ソ官進メハ諸間切ノ地頭脇地頭ヲ命ス其地
ニ職田アリ土人之ヲ耕作シ四公六民ノ率ヲ以
テ地頭ニ納ム

無禄ノ士半ニ居ル力役ヲ以テ朝夕ヲ營ム

延喜式 卷二 南島 赤木 貢物 延喜式 卷二 南島 赤木 貢物 延喜式 卷二 南島 赤木 貢物

貢獻志

延喜式ニ曰ク太宰府南島ヲ管シ方物ハ赤木
ヲ貢ス其數ハ得ルニ隨フ
南島志ニ曰ク琉球赤木ヲ産ス其性堅緻紫紅
色白理アリ蓋シ欄木ノ類本朝式ニ所謂南島
貢スル所ノ赤水是ナリ

按スルニ南島人ノ朝貢書史ニ見ユル者推
古天皇ノ朝ニ始リ天平勝寶ノ比ニ終ル天
平勝寶ヨリ延喜ニ至ル凡ソ百六十七年南
島ノ朝貢絶サル一線ノ如シ式中貢物ヲ載

スル赤木一品ノミ蓋シ琉球隋ニ絶テ隨テ
我ニ遠カル此ニ於テカ教化及ハス暴行禁
ナク盜賊給テ取ル故ニ僧空海書シテ虎性
トシ三善清行人ヲ喫フトシ遂ニ鬼界ト稱
スルニ至ル舜天王中興國內始テ安シ然レ
氏未タ職貢ヲ修ムルニ及ハス爾後彼レ自
ラ明清ニ通シ世世其封爵ヲ受ク慶長役以
來職貢舊ニ復スト雖モ猶其清國ニ通スル
ヲ禁セス故ニ世琉球ヲ以テ兩屬ノ國ト為
ス之ヲ要スルニ琉球ハ蕞爾タル小國ト雖

モ頗ル自主ノ國體ヲ備フ是ヲ以テ本朝中
古以降ノ史南島ノ朝貢ヲ紀スル三韓肅慎
ノ入貢ト略同例ニシテ外國ヲ以テ之ヲ待
テ其朝聘貢獻ヲ以テ務メテ世ノ耳目ヲ眩
耀シ史冊ノ光烈ヲ取ル者和漢同揆ナリ今
其事實ニ就キ内地及ヒ清國貢獻ノ節目ヲ
叙スル左ノ如シ

東京

貢納八千二百石

年年代價ヲ以テ租稅寮ニ納ム薩藩所轄ノ時

八租納八千六百餘石其内三千六百八十石ハ
黒砂糖九十七万斤ヲ以テ代納ス直管ト為リ
シヨリ糖納ヲ廢シ四百餘石ヲ減シ定メテ本
條ノ數ト為ス

新年天長節進献物品

紺地縞細上布十端 紺縞細上布十端 練芭
蕉布十端 太平布十匹
節日ニ當リ在勤長官参内シテ之ヲ進奉ス
明治九年西節ノ進献ヲ廢セラレ藩王王子
上京参内ノ日ハ方物ヲ献シ其歸ルニ臨ミ

各賜品アリ其數ハ進献ノ多寡ニ從フ維新
前ハ國王ノ嗣立及ヒ將軍家ノ継統ニ王子
ヲ江戸ニ遣シ太刀馬代緞子繻珍羅紗紗綾
紅白縮緬上布太平布芭蕉布漆器焼酎ノ類
ヲ呈ス幕府モ亦王及ヒ使者ニ物品ヲ賜與
シ以テ例ト為ス薩藩ハ八租納ノ外毎夏ニ
土宜ヲ呈シ藩主ヨリモ答報アリ數百年ノ
恩義アルニヨリ今日ニ至リ時時島津氏ノ
起居ヲ訪ヒ互ニ贈答アリ

清國

琉球ノ清國ニ通スル遞年ニ進貢接貢二船
 ヲ發遣シ今年霜降立冬ノ際開洋 藩王嗣立
 ノ時冊封謝恩使ヲ遣シ清帝即位ニ賀慶使
 ヲ遣ス其進貢船ハ二隻接貢船ハ一隻進貢
 官員進貢使一人大夫一人才府一人大通事
 二人北京通事一人官舎三人脇通事二人存
 留脇通事一人北京大筆者一人大筆者一人
 脇通事二人総官二人與力一人儀者一人隨
 陪及ヒ船方百八十人総計二百人接貢人負
 総計八十九人往來共ニ福建ニ由リ行館ヲ

其地ニ建ツ進貢ノ時才府大通事官舎大筆
 者総官各二人脇通事存留通事各一人共計
 十四人接貢ハ其半ヲ減シ今秋ヨリ翌夏マ
 テ在留シテ存留脇通事進貢諸用ヲ辦シ且
 貿易ヲ為ス其北京ニ至ル者ハ進貢使大夫
 北京大通事北京大筆者與力儀者各一人隨
 陪六人謝恩使出京人負三十人賀慶使ハ二
 十五人

進貢使ノ貢物接貢ハ貢物ナシ

硫磺一万二千六百斤 銅三千斤 錫千斤

冊封謝恩使ノ時

皇帝へ

金鶴一對

銀ノ岩形

具足一領

金拵刀二腰

銀

拵刀二腰

刀二十本

鎗十本

長刀十本

馬具一揃

金屏風二雙

金扇子百本

銀扇

子二百本

金砂子扇子二百本

綿子二百把

白練蕉布三百端

白細上布百端

銅五百斤

錫五百斤

賀慶使ノ時

皇帝へ

金壺一對

銀壺一對

金丸拔太刀二腰

銀

丸拔太刀二腰

三葉布百端

練細蕉布百端

金屏風一雙

扇子二百本

形紙五千枚

銅

五百斤

錫五百斤

皇后へ

金匣一對

銀匣一對

三葉布四十端

練細

蕉布四十端

扇子八十本

先帝へ

進貢銀百兩

清帝手筆ヲ賜ヒシ時

金鶴一對 銀形臺 岩 貝摺茶碗三東 附蓋 貝摺茶盆

三束 花織練蕉布五十端 練蕉布五十端

金屏風一雙 形紙五千枚 中奉書紙五千枚

扇子二百本

進貢 / 時清帝賜品

藩王

錦八匹 字緞子八匹 粧閃緞子八匹 圓金

八匹 紗十二匹 五絲緞子十八匹 羅十八

匹

進貢使及七大夫

圓金三匹宛 五絲緞子八匹宛 羅五匹宛

繭五匹宛 紡絲二匹宛 布一匹宛

才府

五絲純子五匹 羅五匹 繭五匹

北京大通事

五絲純子五匹 羅五匹 繭三匹

北京大筆者以下從者十五人

繭三匹宛 布八匹宛

存留及七福建滯在 / 從者十七人

彭緞袍一枚宛

加賜品

藩王

蟒緞二匹 大小絹箋四卷 福字方百幅 筆

四匣 墨四匣 硯二面 彫漆器四品 玻璃

器四品

進貢使及口大夫北京大通事

細皮袍一枚宛 細棉襖一枚宛 細綿褲一雙

宛 細棉腿褲一雙宛 皮領一宛 皮帽子一

宛 絲帶一宛 襪一雙宛 緞靴一雙宛

北京大筆者以下從者十五人

細羊皮袍一枚宛 細棉褲一宛 布綿腿褲一

宛 皮領一宛 皮帽子一宛 絲帶一筋宛

布褲一雙宛 布靴一雙宛

進貢使

蟒緞三匹 漳絨三匹 江細四 大荷包二

小荷包四 大緞一匹 箋紙一匹 筆二匣

墨二匣

大夫

蟒緞二匹 漳絨二匹 江細三 大荷包二

小荷包四 大緞一匹 箋紙二卷 筆二匣

墨二匣

清帝手筆ヲ賜ヒシ謝恩使ノ時

賜品前條ニ同シ

賀慶使ノ時

藩王ハ

錦八匹 蟒緞八匹 蟒紗四匹 蟒欄紗四匹

羅緞八匹 紗十二匹 緞十八匹 花紡絲十

八匹

王舅ハ

蟒緞五匹 羅緞三匹 緞八匹 花紡絲七匹

綿綢五匹 布一匹

大夫ハ

羅緞三匹 緞八匹 花紡絲七匹 綿綢五匹

布一匹

勢頭及ヒ北京大通事王舅通事ハ

純子五匹宛 花紡絲五匹宛 綿紡絲三匹宛

綿綢三匹宛 布八匹宛

福建在留ノ從者十四人ハ

彭緞一枚宛

加賜品

藩王

玉器十品 瑤瑯器十六品 各色八絲緞子二十匹 磁器百四十品 玻璃器十品 硯二面 瑤瑯爐瓶盆一組

王舅

大卷八絲緞子四卷 錦三匹 漳絨三卷 大卷五絲純子四匹 大荷包二 小荷包四 緞子八匹 十分銀一貫目

大夫

大卷八絲緞子三匹 錦二匹 漳絨二卷 大

卷五絲純子三匹 大荷包二 小荷包二

勢頭及北京大通事

五絲緞子四匹宛 十分銀三百目宛

王舅通事大夫通事

綢羊皮袍一放宛 綢棉襖一枚宛 綢棉袴一放宛 綢棉襪一雙宛 緞靴一雙宛 絲帶一筋宛 皮帽子一宛 皮領一筋宛 布帶一筋宛 布襪一雙宛

沖繩志
 卷二
 有恒齋藏版

牛	ル首	絲	斤十	油	入ス	渡用	=	=	根間	青	レ
○	十里	○	○	百九	チ内	名	九	川	チ切	○	ハ
馬	七那	炭	亦	斤千	仰地	喜	シ	ソ	リ	○	印
○	八霸	○	力	五	クノ	計	者	六	取	リ	度
野	里	薪	油	○	輸	羅	ハ	獲	リ	テ	ラ
羊	距	運	以	十	桐	○	間	箕	ス	一	送
○		輸	上	九	油	菜	鳥	セ	年	○	○
豚		ス	二	○	百九	種	ニ	○	之	ス	芋
○		其	品	山	斤二	油	産	伊	鬱	チ	陸
猪		值	首	茶	○	ス	九	ス	江	金	植
○		七	里	油	柴	亦	四	○	三	九	エ
鹿		内	那	十	油	輸	千	水	千	三	時
○		地	霸	斤七	百九	入	斤	綿	斤	万	時
猫		ヨ	ハ	○	斤九	チ	藩	○	○	培	八
○		リ	総	紅	○	仰	用	煙	蘭	養	九
犬		貴	テ	藍	屋	ク	足	草	系	シ	年
		シ	山	花	良	○	○	○	○	○	○
		山	原	○	部	胡	○	○	○	○	○
		原	ヨ	芭	油	胡	○	○	○	○	○
		ハ	リ	蕉	七	麻	○	○	○	○	○

鷄 ○ 家鳧 ○ 小禽 ○ 雉 ○ 鷹隼 ○ 鷗鷺 ○
 鴻雁來ラス鶴チ見ス首里那霸ノ近郡鳶鴨棲

鯉	飯	甚	觸	ル	死	キ	出	色	害	蚊	○
○	ヒ	シ	ル	金	ス	頭	テ	ニ	セ	○	マ
鮒	蛇	獨	者	飯	ル	ヲ	涼	シ	○	蠅	ス
○	チ	リ	ハ	者	以	秋	テ	○	蝮	歳	山
鰻	産	喜	必	蛇	ア	テ	全	○	蝎	蟄	原
○	セ	界	ス	ト	リ	行	身	○	○	セ	ニ
鼈	ス	島	死	稱	死	人	斑	○	蚊	ノ	小
○			ス	ス	ニ	チ	草	○	終	類	鴉
○			ト	ル	至	撃	根	○	蛇	○	ア
鯰			云	者	ラ	ツ	樹	○	蝎	ハ	ル
○			フ	形	サ	毒	上	飯	虎	屋	ノ
泥			大	小	ル	氣	ニ	ヒ	聲	壁	ミ
鰻			島	ニ	モ	齒	在	蛇	チ	ノ	
			徳	シ	多	牙	リ	者	蛇	發	ノ
			之	テ	ク	ヨ	尾	長	蝎	ス	間
			島	毒	ハ	リ	チ	平	サ	ノ	然
			此	氣	廢	發	草	圓	六	七	類
			害	最	人	シ	木	春	七	尺	大
			殊	多	ト	忽	=	暖	二	卷	二
			ニ	シ	ナ	チ	卷	二	嵐	ル	ナ

中
 二十五
 月巨齋裁反

江... 卷二

キ ○ 梯ダイ梧コ ○ 木一名筆 ○ 布久呂木 ○ 屋良部漢名 ○ 石竹
○ 水蘭 ○ 水芙蓉 ○ 桂蘭 ○ 瑞サン聖ジン花 ○ 佛泉 ○ 黄胡
蝶 ○ 計羅間躑躅 ○ 躑躅 ○ 月橘
孟宗竹 ○ 苦竹 ○ 虎斑竹 ○ 金竹 ○ 唐金竹
芭蕉 ○ 三種ハアリ種其種各異ナリ一ハ實チ食ヒル ○
朱蕉 ○ へゴ ○ 萬年青 ○ 紫才モト ○ 美人蕉 ○ 長
春花 ○ 釵子股 ○ 名護蘭 ○ 入面蘭 ○ 霸王樹 ○ 宮
人草 ○ 飯ハ蛇草 ○ 日日草 ○ 午時花 ○ 菓子萩 ○
春秋菊 ○ 菊 ○ 脚線 ○ 杜鵑花 ○ 金錢花 ○ 寶相花
○ 野薔薇 ○ 蓮 ○ 水仙 ○ 藤 ○ 夜來香 ○ 葵 ○ 燕子

花 ○ 菖蒲 ○ 百合 ○ 鷄冠 ○ 雁来紅 ○ 阿旦
草木ハ内地ニ於テ未タ見サル者十ノ五ニ居
ル
落花生方言落地 ○ 防風 ○ 大根 ○ 黄大根 ○ 午房
○ カヤ芋 ○ 薯蕷一塊重サ十斤 ○ 田芋 ○ 慈菇 ○
ツルノコ ○ 蕪青 ○ 蓮根 ○ 薑 ○ 蒜 ○ 葱 ○ 韭 ○ 薤
○ 冬葱 ○ 玉蕪 ○ 麥蕪 ○ 蒨蕪菜 ○ 唐菜 ○ ハンタ
マ ○ 蕪菜 ○ 寒山菜 ○ ウイキヨウ ○ ヒー菜 ○ 欸
冬 ○ 藜 ○ 蕨 ○ 味噌菜 ○ 唐モシ ○ 田モシ ○ 青瓜
○ 糸瓜 ○ 苦瓜 ○ 冬瓜 ○ 南瓜 ○ キン瓜 ○ ツフル

中... 二十七

和名通志 卷二 有恒齋藏版

○刀豆 ○茄子 ○瓢箪 味美ニシテ ○番椒 終年凋落セス

四時花ヲ結フ樹圍 ○耳割 耳割

荔枝 樹圍尺ニ餘 ○龍眼 ○橄欖 ○柿 ○桃 ○揚梅

○芭蕉實 ○柘榴 ○蕃石榴 ○橙 ○香橙 ○金柑 ○

密柑 酸味多シテ ○枇杷 顆小ニシ ○蒲桃 ○アマ

知母 ○粟白皮 ○天門冬 ○香椀子 ○小茴香 ○綿

柏葉 ○天南星 ○青蒿葉 ○蓼 ○百部 ○乾姜 ○桔

梗 ○忍冬 ○紫蘇 ○車前子 ○丹參 ○鷄內金 ○茨

米 ○冬葵子 ○前胡 ○蘇子 ○麥棟子 ○胡椒 ○土

茯苓 ○草豆蔻 ○海人草

青苔 ○鹿角菜 ○海松 ○布海苔 ○角俣 ○白菜

藥種海草品類多シト雖モ皆僅僅ナリ今其數

稍多キ者ヲ掲ク輸出ニ供スル者ハ海人草鹿

角菜ノミ

硫黃 ○硯石 ○砥石 ○石灰

金銀銅鐵石炭山ナシ或ハ礦穴アルモ土俗採

掘ヲ忌ム

紺地縞細上布 官古島 ○白地縞細上布 八重山

細縞 久米島 ○上布 ○中布 ○下布 ○大平布 ○三

中 龜 卷二 二十八

細縞 久米島 ○上布 ○中布 ○下布 ○大平布 ○三

紺地縞細上布 官古島 ○白地縞細上布 八重山

細縞 久米島 ○上布 ○中布 ○下布 ○大平布 ○三

中 龜 卷二 二十八

物産圖

[Faint vertical text, likely bleed-through from the reverse side]

○板類
右輸入

江
細
志
卷
三

有
作
齋
齋
齋

草木蟲魚ハ内地ニ生セサル者ノミヲ掲ク凡
 ソ南島ノ卉木紅花多キニ居ル而シテ其紅色
 ミ十火ノ如シ黃胡蝶ハ花瓣ノ外部紅ニシテ
 内部ハ黃ナリ其莖ノ長サ三寸餘形胡蝶ニ類
 シ麗艶愛スヘシ羣芳中特ニ此花ヲ推シテ奇
 種トス



ウスク 縮寫ニ
 十分一

赤水 縮寫ニ
 五分一

中
卷二
勿
二
有



屋良布
縮高
十分一三

福樹
縮高
十分一三



榕
縮高
十分一五

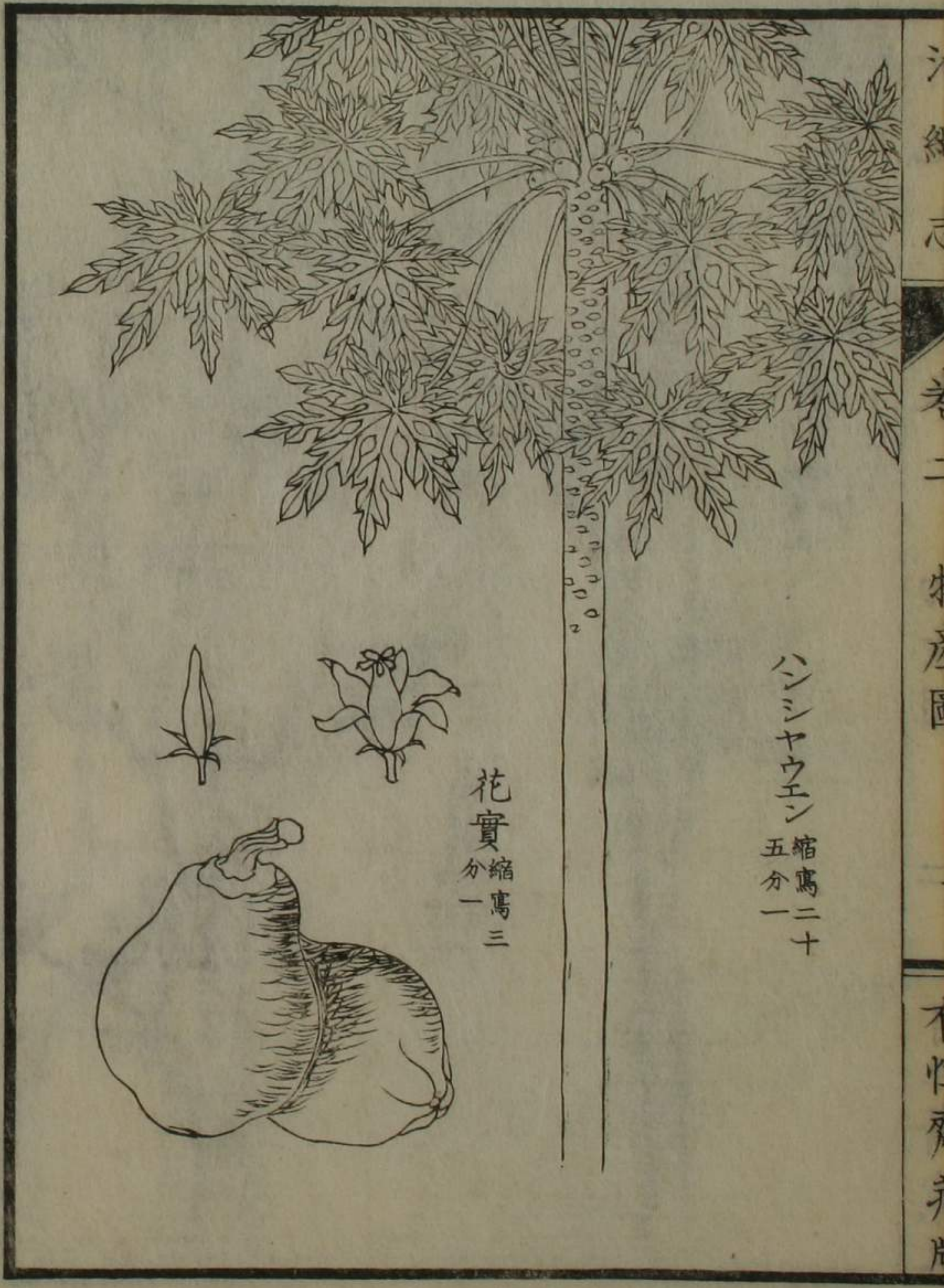
六
八
卷二
榕
有

中
龍
卷二
物產圖
三
有
作
成
長



龍眼
縮寫
十分一

實
縮寫
分一三



ハシヤウエン
縮寫二十
五分一

花實
縮寫三
分一

有
作
成
長

橄欖 縮寫五分一
實 縮寫二分一

アマキ 縮寫五分一
實 縮寫二分一



木藤 縮寫八分一
花 縮寫二分一

福満木 縮寫二分



ウエチクミ 縮寫三分

フクロキ 縮寫五分

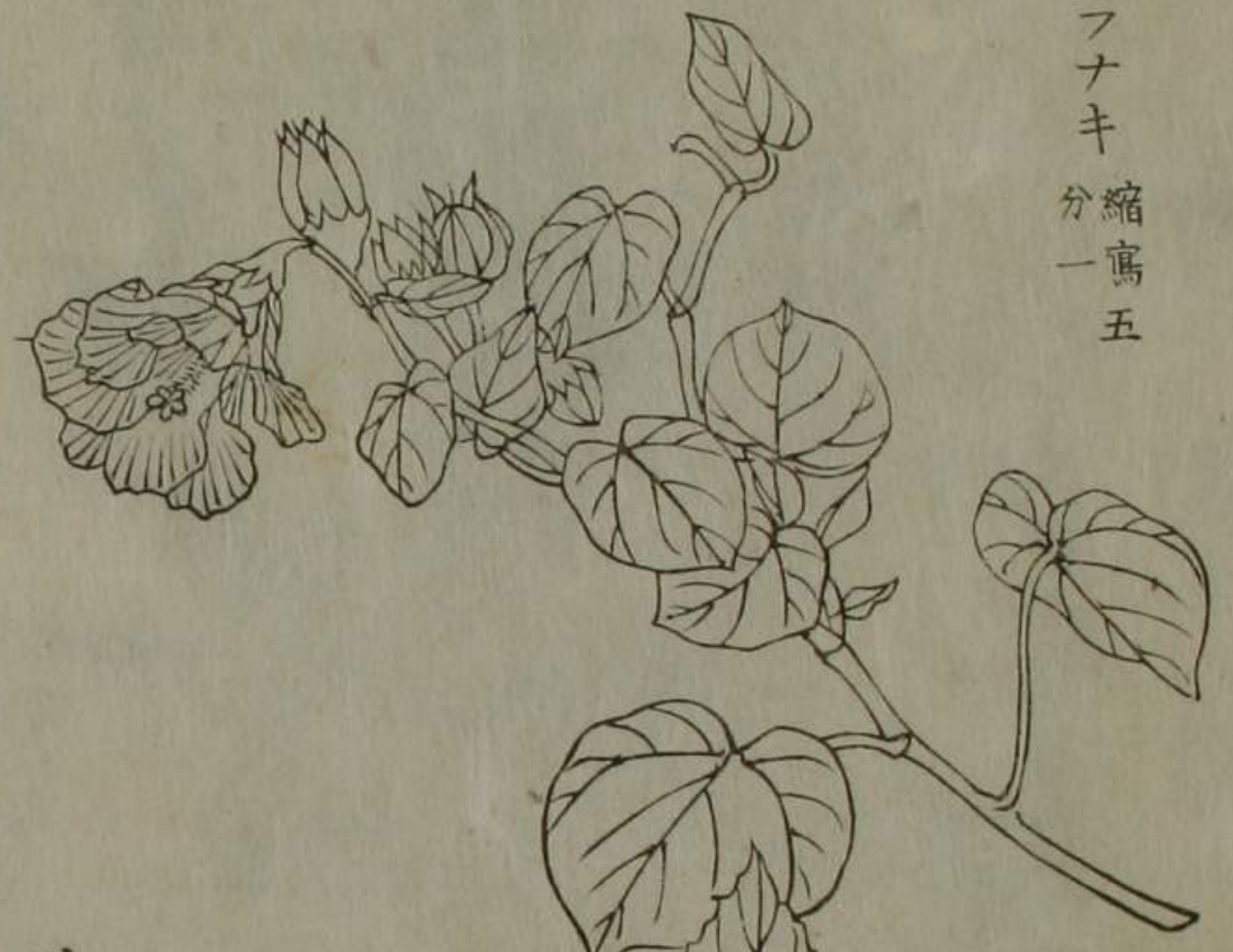
黄胡蝶 縮寫八分

花 縮寫一分



本草綱目卷之六 木部 佛手柑 有作佛手柑

ユフナキ 縮寫五分一



佛来花 縮寫五分一



蕃石榴 縮寫四分一



栴梧 縮寫十分一
花 縮寫五分一

中 卷之六 木部 佛手柑 六

荔枝
縮寫二分



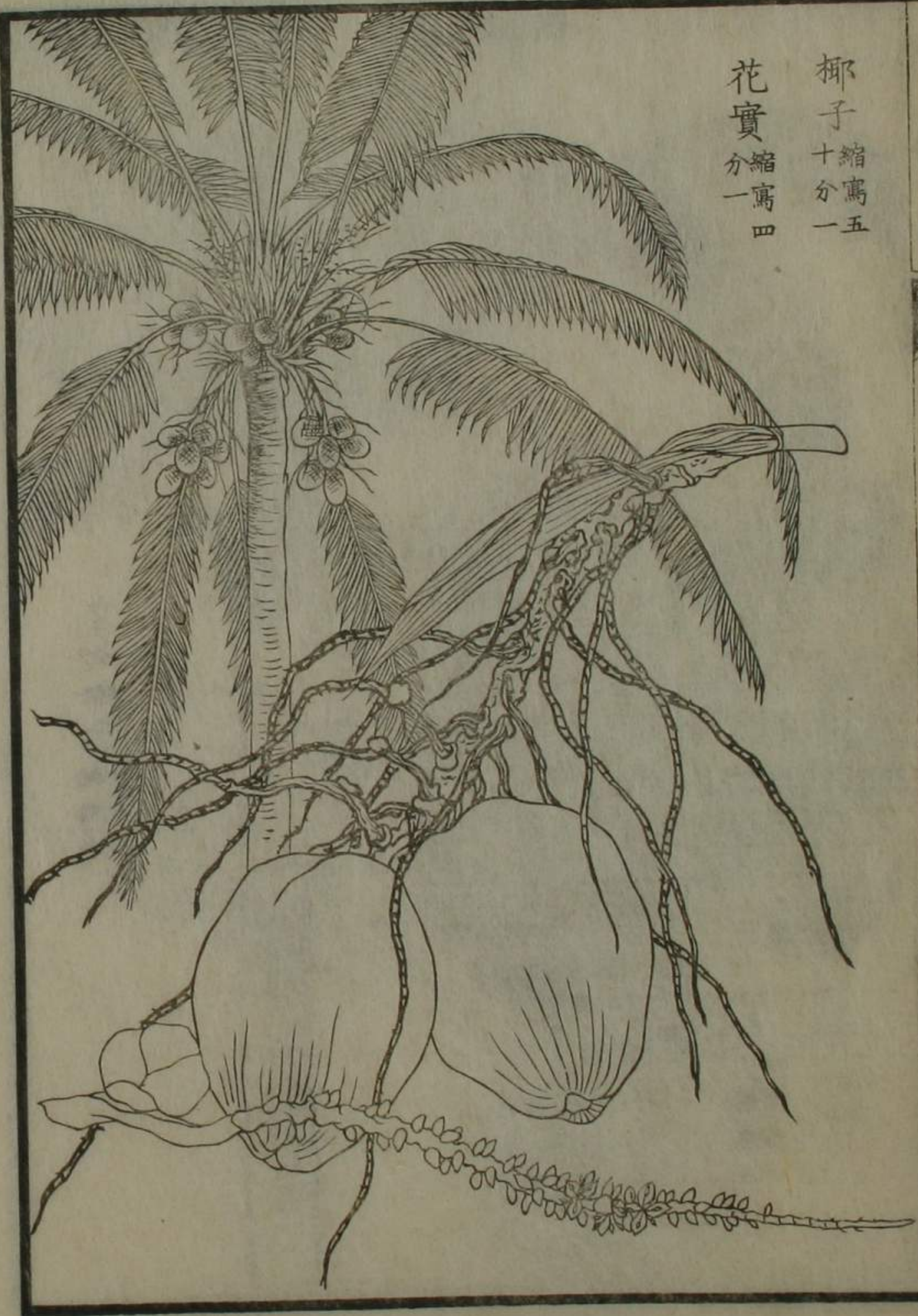
枕椰
縮寫十分



ウラダ椰子
縮寫十分

コバ
縮寫十分

椰子 縮萬五
花實 縮萬四



唐芭蕉 縮萬十
分一



芭蕉 縮萬十
分一



ヘ
ゴ
十縮
分寫
一五



阿
且
十縮
分寫
一

實
十縮
分寫
一四



鬱金
縮寫八分一

花
縮寫五分一

根
縮寫五分一



藍
縮寫三分一

真麻
縮寫四分一

江蘇通志 卷二 植物圖

紫才毛
縮寫八
分一



飯已蛇草
縮寫三
分一



午時花
縮寫三
分一



甘薯花
縮寫三
分一



蕹菜
縮寫三
分一



中 卷二 勿產圖 十一 月巨奇或反

水經志 卷二 雜錄 有竹齋

釵子股 縮寫三分



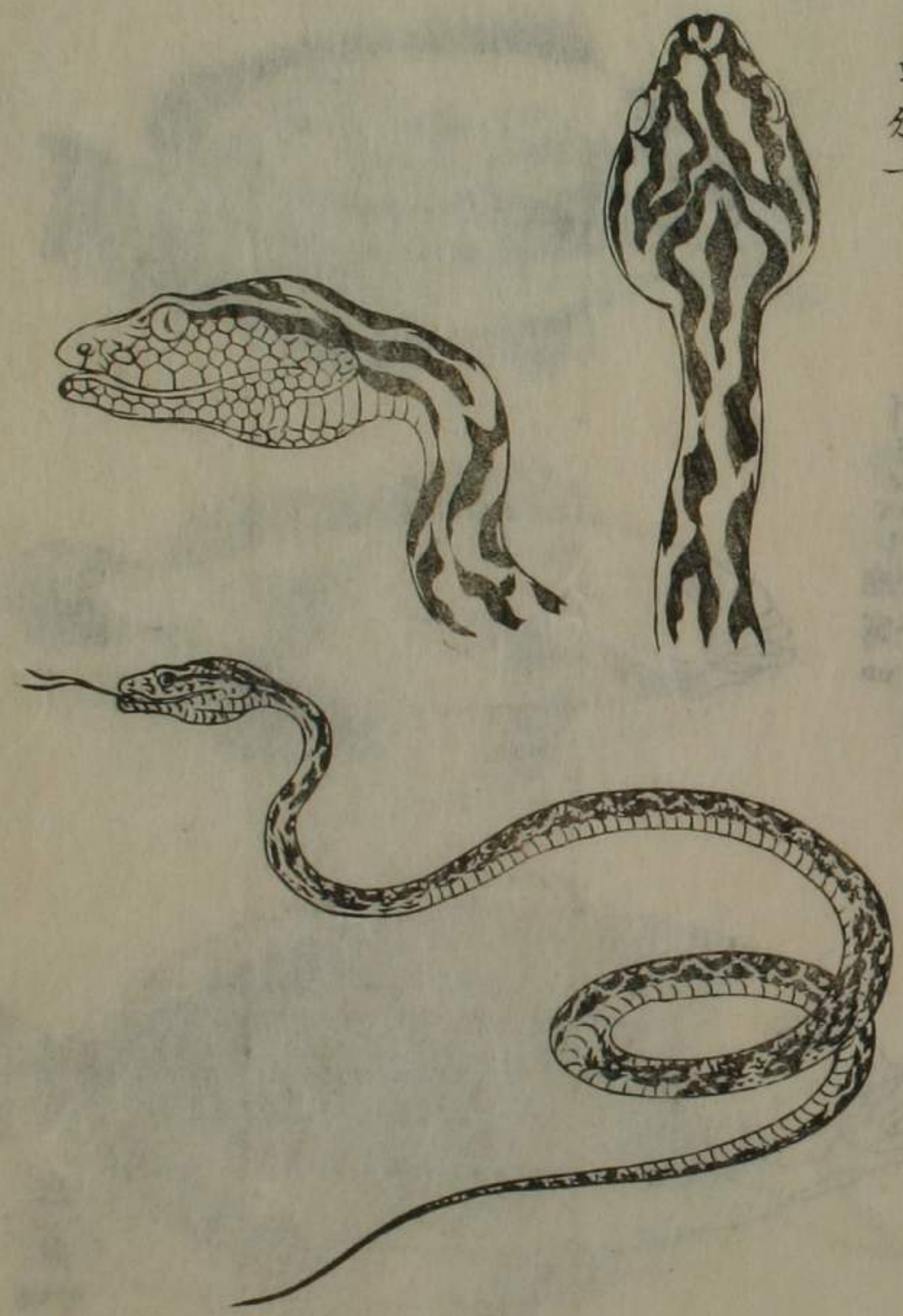
名護蘭 縮寫三分



入面蘭 縮寫五分



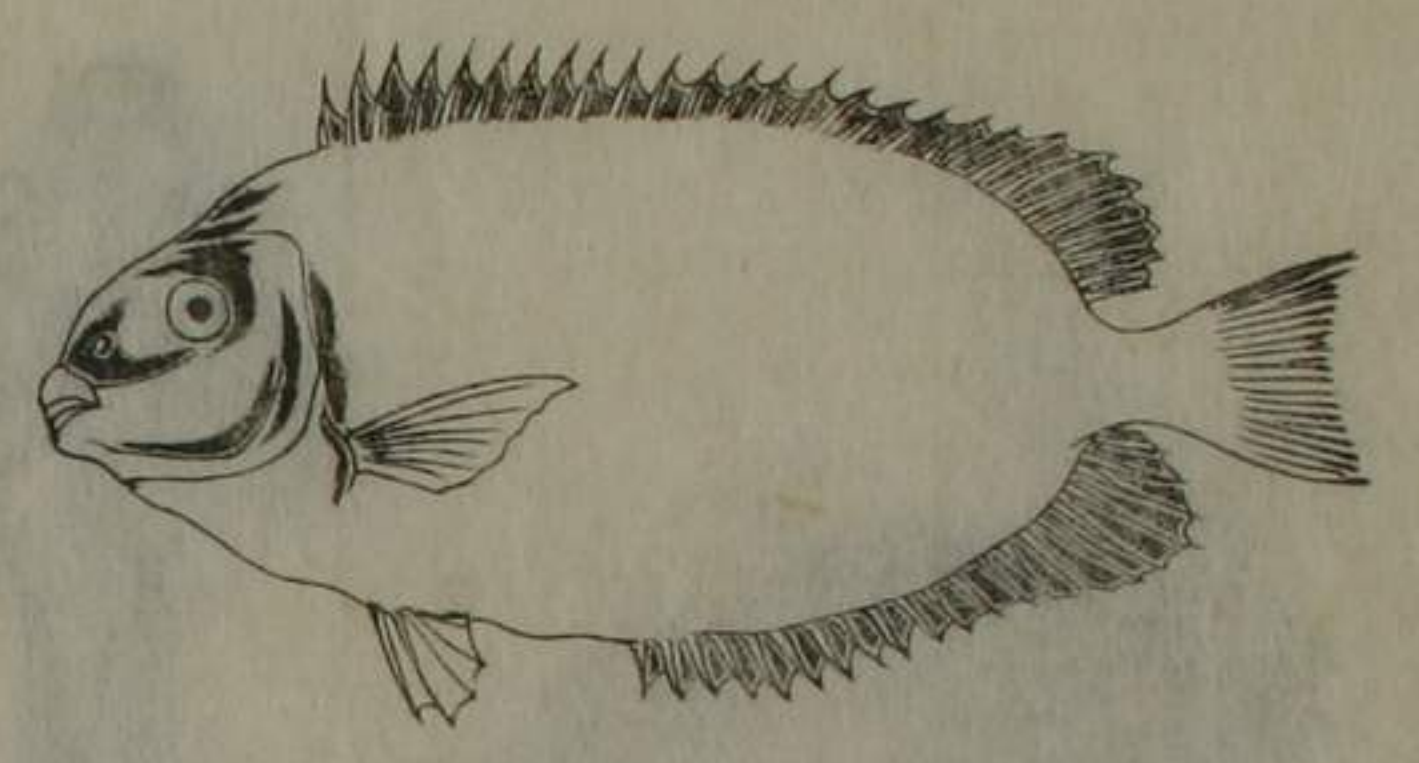
飯匕蛇 縮寫四分



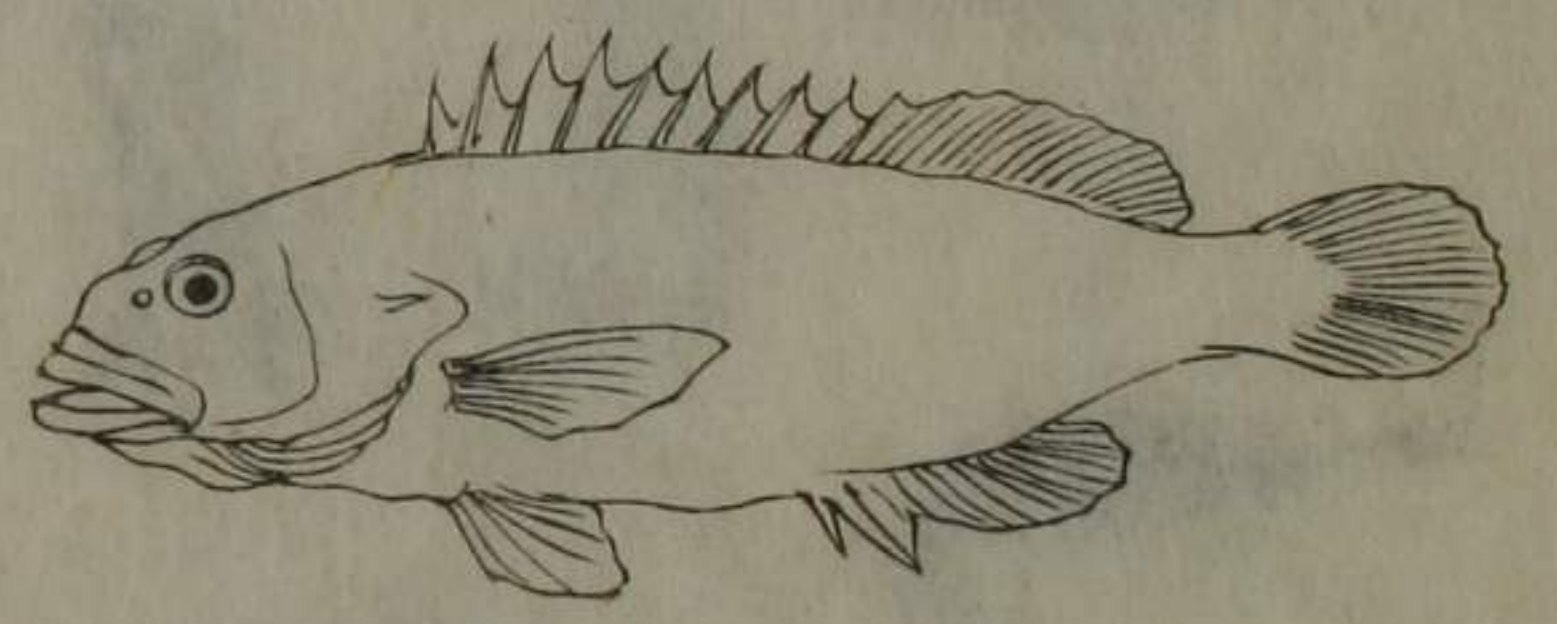
中 蛇 卷二 物產圖 十二 有巨齋

江
續
志
卷
二
魚
類
圖
有
心
齋
精
註

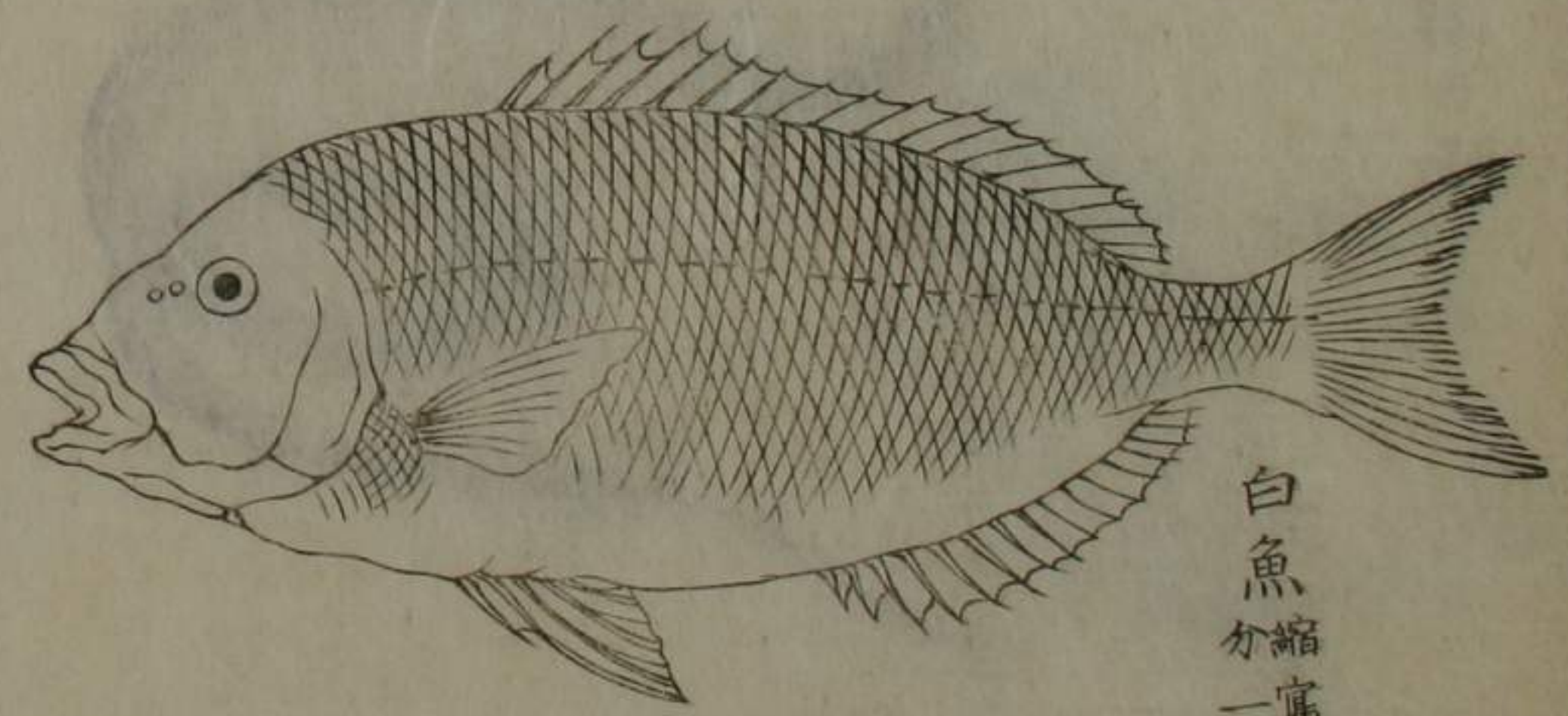
エノ魚
縮寫三
分一



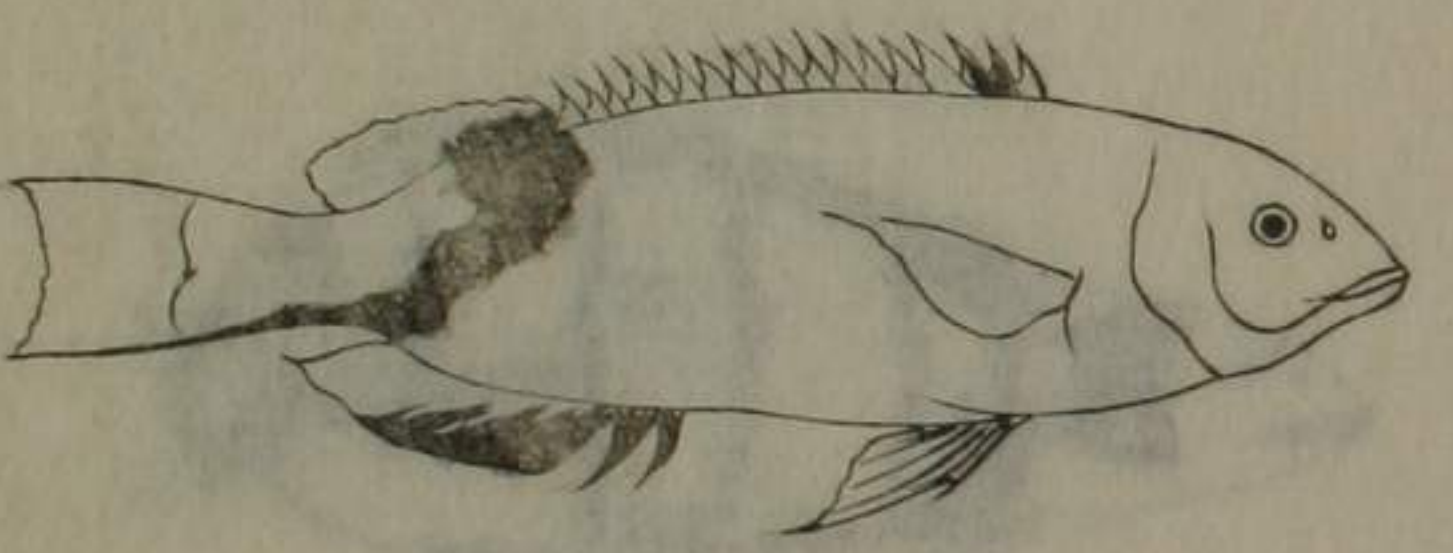
イシメバル
縮寫四
分一



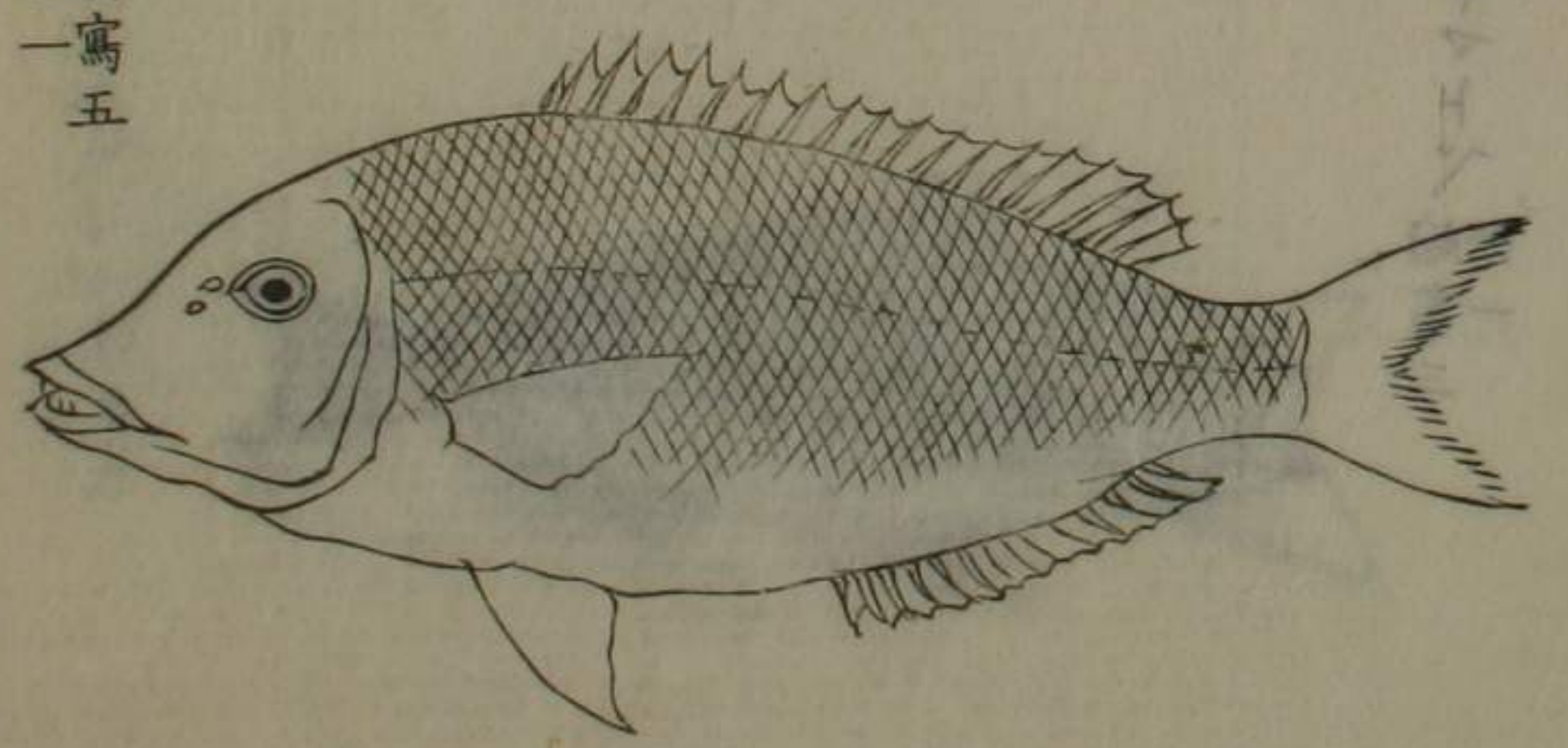
白魚
縮寫五
分一



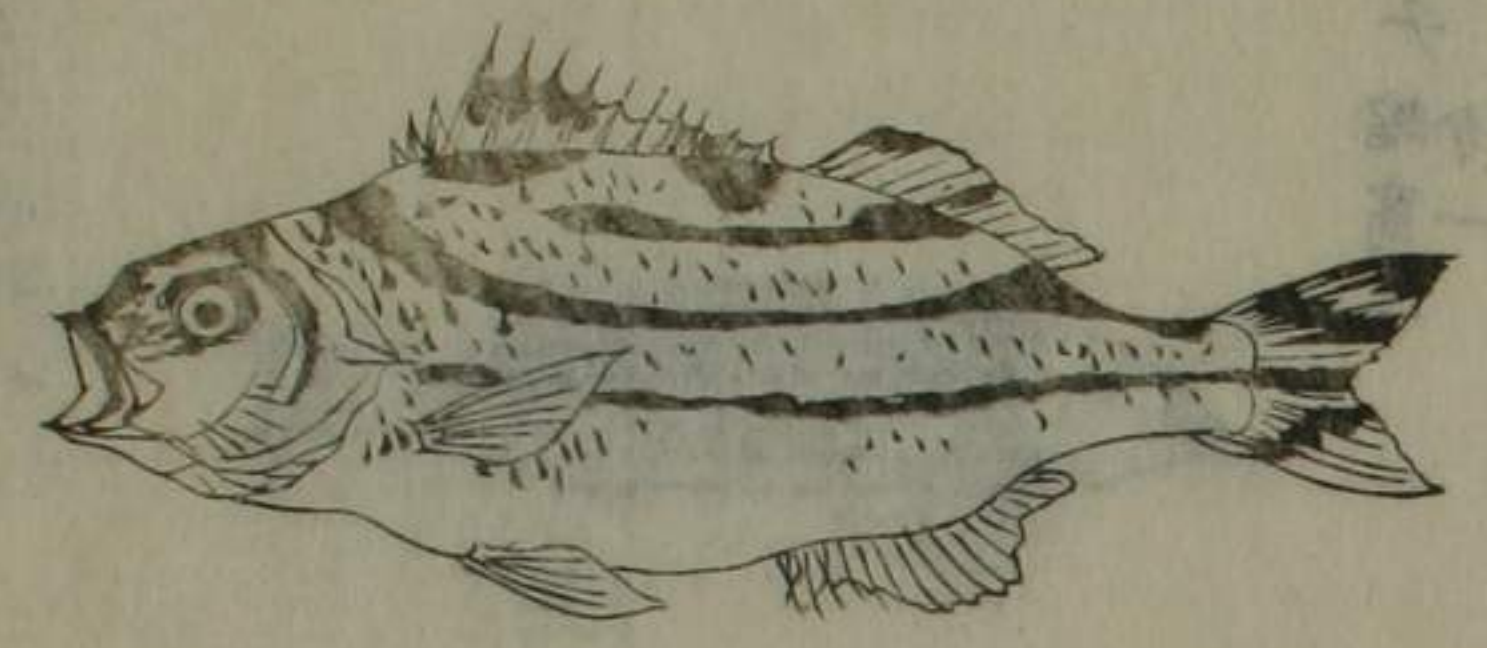
無名魚
縮寫三
分一



タマン
縮寫五
分一

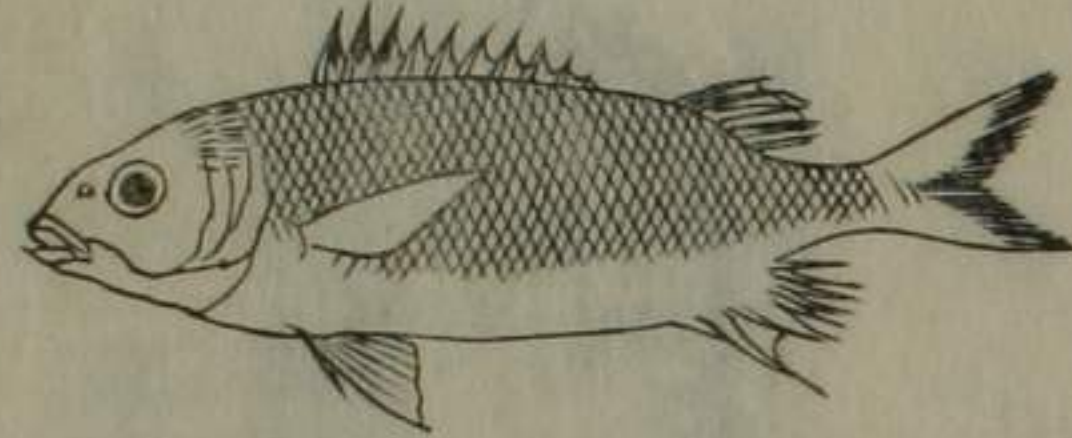


クワイユ
縮寫三
分一

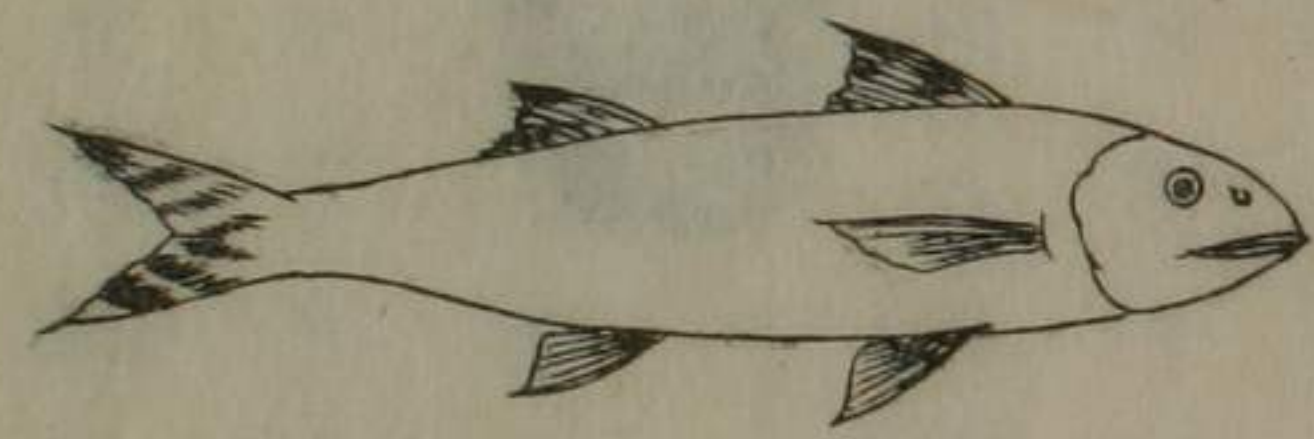


中
尾
志
卷
二
魚
類
圖
十三
有
心
齋
精
註

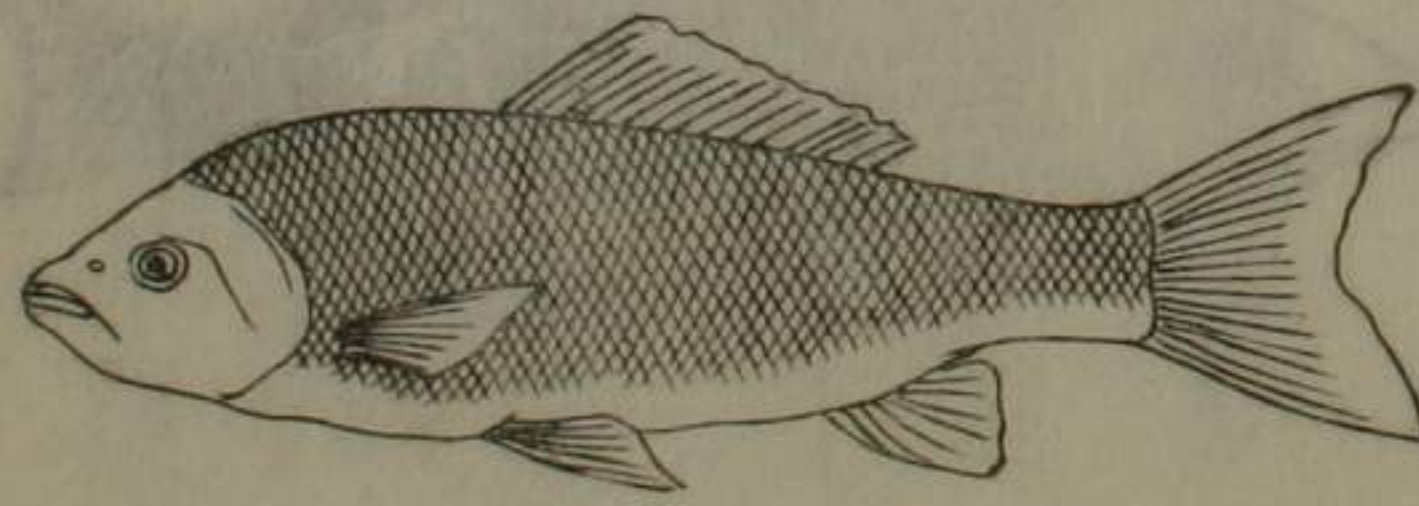
赤魚
縮寫三
分一



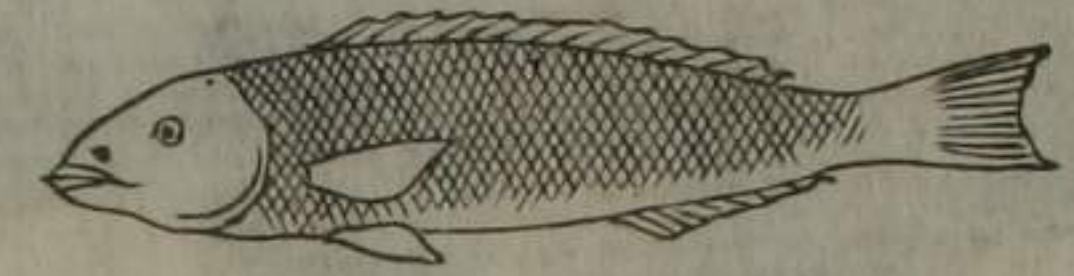
カタカス
縮寫三
分一



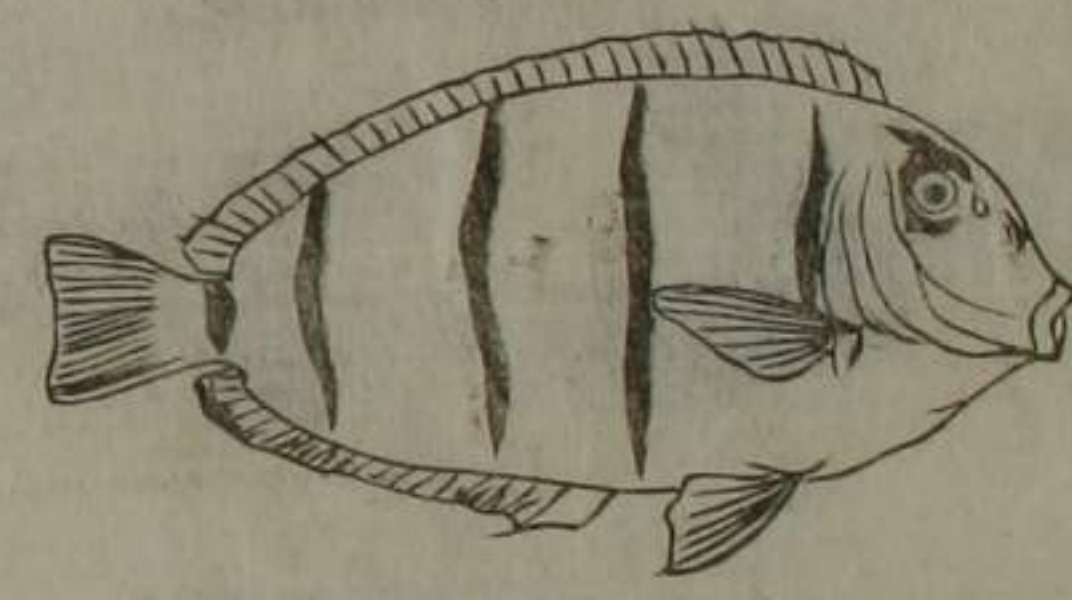
チダーユ
縮寫三
分一



エラブチ
縮寫三
分一



アヤビキ
縮寫三
分一



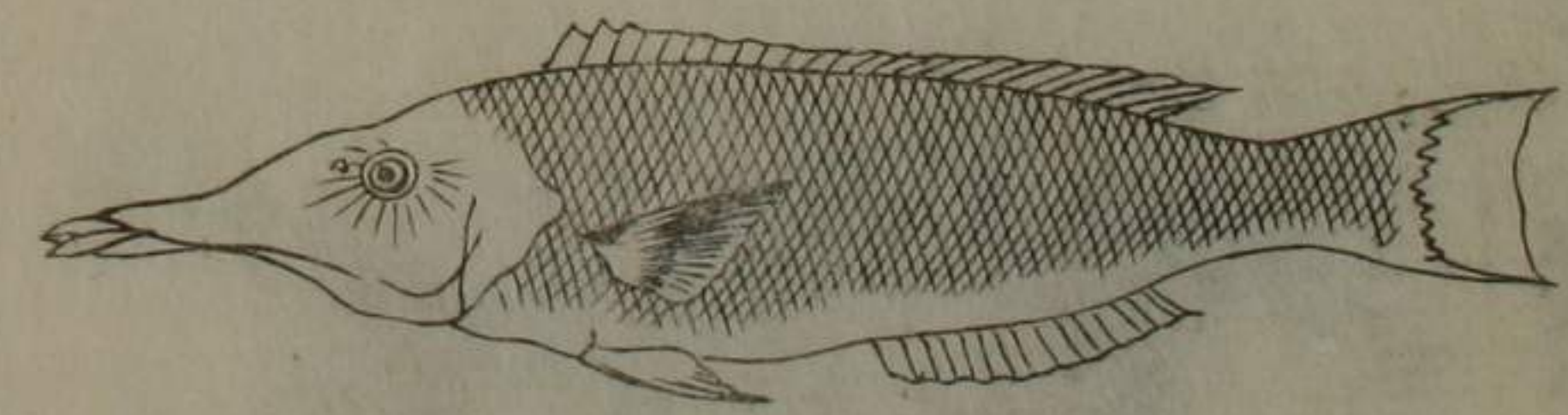
ヤマトベ
縮寫三
分一



ワラエヒ 縮寫四分一



無名魚 縮寫三分一



政俗志

政教部

文教ヲ以テ治化ヲ敷キ些ノ兵備アルヲ無シ慶
 長役以後絶テ兵革ヲ用ヒス盖シ海中ノ小國外
 國ニ批衡シ難ク兵ヲ備フルハ自亡ヲ招クノ基
 ナリト注意シ寸鉄ヲ帶シメス禮讓ヲ以テ兵刃
 ニ代ヘ制度ヲ嚴ニシテ下ヲ御シ柔ヲ以テ剛ヲ
 制スルノ策ヲ立ツ海上賊船ヲ防ク為ニ鹿兒島
 ニ請ヒ大小砲若干ヲ借り航清ノ船艦ニ備フル
 ノミ

農民ヲ治ムル所謂由ラシムヘキノ意一基々各
間切ノ番所ニ於テ讀法アリ其諭告書ヲ教條ト
名ク部民ヲ集メテ懇切ニ教戒ス書意ハ倫理ノ
條目ヨリ人人ノ職分ヲ俚解セシ者ナリ
佛寺アレトモ獨リ葬祭ヲ掌ルノミ教法ヲ受ル
者ナシ

文學部

學校三十

- 首里十八國學校一平等學那霸四〇久米村三
- 〇泊村一〇宮古島二〇石垣島二

各所ノ學校皆程朱派ニシテ孔孟ノ道ヲ講ム首
里久米村ニ孔廟アリ國學校ハ王子以下士族ノ
子弟十八九歳以上ノ者入學ス學則畧備ル平等
學校平等學校トハ區學ハ門閥及ヒ士族十七八
歳以下ノ者入學シ村學校ハ士族平民六七歳以
上ノ者入學ス久米村ハ邦訓漢音ヲ兼テ學フ長
スルニ及ヒ清國ノ交際ニ關シ通辯ノ事ヲ司ル
カ為ナリ
文字ハ伊呂波ノ四十八字ヲ用フ官府俗間ノ牒
簿書札悉皆我ト同シ門閥ノ子弟及ヒ久米村人

ハ清國ノ書法ヲ學ヒ官吏ハ總テ所謂御家流ヲ學フ

婦人ハ紡織ニ從事シ曾テ字ヲ知ル者無シ
漢文ヲ作り聲詩ヲ詠スル者アリト雖モ久米村
人ノ外僅僅數フヘシ和歌ヲ嗜ム者多ク毎月歌
會ヲ設ケ甲乙ヲ鬪ハス頗ル聲調ヲ得ル者アリ
現今宜野灣朝保カ如キ殆ント妙處ニ至ル

制度部

曲尺六尺五寸ヲ一間トシ六十間ヲ一町トシ三
十六町ヲ一里トス 方六尺五寸ヲ一坪トシ三

十坪ヲ一畝トシ三百坪ヲ一反トシ十反ヲ一頃
トス 鯨尺ハ布帛ニ用フ其一尺ハ曲尺一尺二寸ニ當
ル 一合拵ハ内法リ方二寸一分五厘深サ一寸四分
七厘 一升拵ハ内法リ方四寸九分深サ二寸七
分 掛目ハ何品ヲ問ハス皆百六十目ヲ以テ一斤ト
シ千目ヲ一貫目トス 拵ハ琉球官府之ヲ造リ衡度ハ内地ノ製ヲ用フ

金銀貨ナク楮幣無ク寛永小銅錢アルノミ冊使
ノ来ルヤ預メ清國錢ヲ備ヘ滯留中之ヲ行ヒ寛
永錢ハ秘匿シテ出サス其清國へ流出シ國用乏
キニ至ルヲ慮ルナリ

布帛諸品ヲ賣買スル皆女子ナリ算法ヲ知ラス
繩ヲ結ヒテ符トナシ數萬貫ノ錢即時ニ算了シ
鎗銖ヲ差ラス積年小銅錢ノ行使ニ慣レ遽カニ
金銀楮幣ヲ施シ難キノ勢アリ
衣服冠帶輿馬履履ノ類ニ至ルマテ等級ニ應シ
各制度アリ命令普徹シ上下敢テ制ヲ踰エス

褒賞部

褒賞條例ヲ設置シ人民ニ頒布スル
了左ノ如シ

褒賞條例

- 一 國家ノ為メ身命ヲ抛チ忠節ヲ顯ス者ハ或ハ
爵禄ヲ進メ或ハ知行ヲ増シ或ハ物品ヲ與フ
ヘシ
- 一 篤行博學ニシテ政道ヲ補益シ世人ノ模範ト
為ル者ハ或ハ爵禄ヲ加ヘ或ハ知行ヲ増シ或
ハ物品ヲ與フヘシ

一父母ニ孝順親族中和睦シテ他人ヲ感動セシ
 ムル者ハ或ハ爵禄ヲ加ヘ或ハ知行ヲ増シ或
 ハ物品ヲ與フヘシ
 一夫死シテ婦人再嫁セス舅姑ヲ孝養シ貞節ヲ
 守ル者ハ或ハ位ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ
 本夫存生ノ者モ舅姑ニ孝順貞操ヲ守ル者
 ハ同シク褒賞スヘシ
 一官船航海ノ時衆ニ抽ンテ勉勵シ且災難ニ當
 リ身命ヲ捨テ盡カスル者ハ或ハ位階ヲ進メ
 或ハ褒賞スヘシ

一在職中職務ヲ勉勵スル者ハ評議ノ上褒賞ス
 ヘシ官ノ費用ヲ減スヘキ目途ヲ立テ其献言
 ニヨリ利益アル時ハ物品ヲ賞與スヘシ
 一諸間切諸島在勤ノ者所在ノ利益ヲ起ス者ハ
 褒賞スヘシ農民ヲ勉策シ逋租ヲ補ハシムル
 者ハ物品ヲ賞與スヘシ
 一醫道ヲ傳授シ治療其法ヲ得ル者ハ位階ヲ進
 ムヘシ
 一當國ニ無キ物品ヲ製造シ世上ノ便益トナル
 者ハ或ハ位階ヲ進メ或ハ官職ヲ授ケ或ハ物

品ヲ與フヘシ

一 藝能ヲ傳授シ世ニ補益スル者ハ或ハ位階ヲ進メ或ハ官職ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 饑饉疾疫災殃ノ時米錢物品ヲ施與シ或ハ無利息ニテ錢ヲ貸與セシ者ハ士族ハ位階物品無系ノ者指平民ヲハ物品ヲ與フヘシ

一 佗國船洋中ニ於テ風濤ニ遇フノ際身命ヲ抛テ扶助スル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 諸間切ノ内疲弊ノ村落アリテ地頭役人之ヲ

救フノ術ヲ得ス農民ノ内ヨリ下知人ヲ命シ其功ニヨリテ疲弊ヲ起ス者ハ或ハ越階ノ位ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 官林ノ外土地ヲ定メ自費ヲ以テ樹木ヲ栽植シ國用ヲ為スニ至ル者ハ或ハ越階ノ位ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 自費ヲ以テ道路橋梁ヲ造營シ久シキヲ保ツ者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 本國又ハ他國ニ於テ一事件起ル時特別ノ功勞アル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フ

一 年齢百歳以上ニ至ル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或
 ハ物品ヲ與フヘシ
 一流刑ニ處セシ者配所ニ於テ品行正シク貧賤
 ノ者ヘ物品ヲ給與シ所在ノ益ヲ為ス者ハ放
 赦スヘシ
 一流罪ノ者前非ヲ悔ヒ改心シテ所在ノ益ヲナ
 シ或ハ近海ニ於テ難船アル時身命ヲ抛チ扶
 助スル者ハ放赦スヘシ
 刑罰部

刑罰ハ薩藩及ヒ支那ヲ斟酌シテ自
 ラ之ヲ制ス條目中苛酷ニ過ル者ア
 ルカ如シト雖モ之ヲ施スヤ多クハ
 寛慢ニ失ス今其概略ヲ左ニ掲ク

法條

- 一 祖父母父母伯叔父母兄弟外祖父母夫及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ謀殺スル者ハ磔罪
- 一 祖父母父母夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ者ハ斬罪
- 一 祖父母父母夫等ノ死骸ヲ收斂セサル者ハ斬罪

但祖先ノ位牌ヲ捨ル者モ同科

一 祖父母父母夫及ヒ夫ノ祖父母父母ノ罪ヲ讓

成シテ出訴スル者ハ僉議ノ上死罪

一 祖父母父母及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ罵詈シ其

祖父母等ヨリ出訴スル者ハ僉議ノ上死罪

一 祖父母父母及ヒ夫家ノ尊長人ニ殺害セラレ

其仇人ト私和スル者ハ重流ニ處ス

一 妻妾夫ヲ謀殺シ或ハ妻妾他人ト姦通シ姦夫

ト謀リ夫ヲ殺ス者ハ磔刑

一 君命ヲ偽傳スル者ハ斬罪

一 官令ヲ偽作シ或ハ君意ヲ増減シテ施行スル者ハ斬罪

一 王ノ印鑑及ヒ寶物ヲ盗ム者ハ終身流罪

一 城堞ヲ踰越シ擅マニ城門ヲ開閉スル者ハ終

身流罪

一 政府諸局ノ官印ヲ偽造スル者ハ斬罪

一 人ヲ謀殺シ及ヒ毒藥ヲ以テ人ヲ殺ス者ハ斬

罪

一 放火スル者ハ斬罪

一 人ノ墳墓ヲ發キ衣類器物ヲ盗ム者ハ斬罪

- 一人ノ財物ヲ搶奪シ人ヲ殺害スル者ハ斬罪
- 一人家ニ忍ヒ入り財物ヲ盗ム時ニ當リ其妻女ヲ犯ス者ハ斬罪
- 一人ノ財貨ヲ盗ミ贓錢壹萬貫文ニ至ル者ハ終身流罪
- 一人ヲ騙シ財貨ヲ他人ニ鬻キ其財ヲ私用スル者ハ終身流罪
- 一官物ヲ盗ミ贓錢七千貫文ニ至ル者ハ終身流罪
- 一賄賂ヲ受ケテ法ヲ曲ケ其贓八千貫文ニ至ル

者ハ終身流罪

- 一投書シテ人ヲ誹謗スル者ハ重流ニ處ス
- 一邪術ヲ以テ人ヲ惑ハス者ハ終身流罪
- 一家長ノ妻女ト姦通スル者ハ終身流罪
- 一婦女ヲ輪姦スル者ハ無人島ニ流罪
- 一婦女ヲ強姦スル者ハ終身流罪
- 但女子十二歳以下和ト雖モ強ヲ以テ論ス
- 一爭鬪シテ人ノ手足ヲ折リ廢人ニ至ラシムル者ハ重流ニ處シ養育料ヲ出サシム
- 一博奕ノ類初犯ハ追放再犯ハ重流

一醉狂シテ人ノ害ヲナス者ハ士族ハ寺院ニ蟄居セシメ官吏ハ免職農民ハ笞杖若クハ入牢

一衣服墳墓等常制ニ違フ者ハ罪科ニ處ス罪科ハ蟄居追放笞杖枷號流罪ヲ總言ス下之ニ做フ

一舟船無鑑札ニテ航海スル者ハ罪科ニ處ス

一故ナクシテ牛馬ヲ殺シ賣買スル者ハ追放

一穀物諸品ヲ推買シ或ハ強テ買賣スル者ハ罪科ニ處ス

一權衡度量ヲ私造スル者ハ重罪ニ科ス

一貸借ノ為メ人ノ妻妾子弟ヲ抵當ニ取ル者ハ

罪科ニ處ス

一遺失物ヲ拾ヒシ者ハ七日ヲ限リ平等所ニ出スヘシ其物品ヲ筭シ七分ハ本主三分ハ拾ヒシ者ニ與フヘシ日限ヲ過キテ隱シ置ク者ハ罪科ニ處ス

一蟄居追放流罪人途中或ハ配所ヨリ脱走スル者ハ本罪ニ一等ヲ加フ

一發狂人ノ看護ヲ忽セニシ人ヲ傷ツケ害ヲ為スニ至ラシムル者ハ看護人及ヒ其親族皆罪科ニ處ス

一貸借ノ利子錢ハ貳割穀ハ貳割半ヲ過クルヲ得ス過ル者ハ罪科ニ處ス

儀式部 日月四季皆舊曆ヲ以テ叙ス

正月元日藩王以下天拜畢リテ王子按司三司官諸臣藩王ニ謁ス 二日藩王先王先妃ノ廟ニ詣ル王子以下諸官モ亦參拜ス 七日諸官上城シテ佳節ヲ祝ス此日祝部僧侶モ亦上城 十一日僧侶ニ命シ國家安全ヲ祈ラシム 十五日諸士上城シテ藩王ニ謁ス 吉日ヲ擇ミ藩王神社佛閣ニ詣リ國家安全ヲ祈ル

二月上丁ノ日孔廟ヲ祭り上戊ノ日國廟ヲ祭ル 吉日ヲ擇ミ僧侶ニ命シ諸船ノ海上安全ヲ祈ラシム 春分各家ノ廟ヲ祭ル

三月三日上巳ノ祝儀アリ諸官上城 四月一日更衣諸官上城 八日灌佛會 吉日ヲ擇ミ田畔ノ草ヲ拂ヒ豊年祈ノ式アリ又僧侶ニ命シ清國航海ノ海上安全ヲ祈ラシム

五月五日端午ノ祝儀アリ諸官上城是日那霸港内ニ於テ競渡アリ那霸久米村泊村ノ三所ヨリ舟各一隻 長サ十一二間 廣サ七尺許 ヲ出ス一舟三十四五人

ヲ載ス那覇ハ我装ヲ為シ久米村ハ清國装泊村
 ハ琉装ヲ為シ每舟一人旗ヲ掲ケテ舟頭ニ立チ
 一人鏡カガミ一人太鼓ヲ打ツ餘ハ左右ニ排列シテ擢カガミ
 ヲ揺ス遙ニ望メハカガミノ水中ニ游泳スルカ如シ
 午前十一時ヨリ午後三時ニ至リ港中ヲ往来シ
 遅速ヲ争ヒ隙ヲ窺フテ衝突シ他舟ヲ覆ヘス疾
 クシテ且ツ覆ス者ヲ以テ勝トス御物城ミモノ島名城ノ
 址シニ假閣ヲ設ケ藩王及ヒ世子來リ觀ル都鄙
 老穉觀ル者水陸ニ充滿ス吉日ヲ擇ミ藩王神
 社佛閣ニ詣リ國家安全ヲ祈ル

六月吉日ヲ擇ミ城中ニ於テ稻穗祭アリ清帝
 勅書ノ拜授式アリ是月那覇ニ於テ綱引ノ盛
 ヲ行ヒ以テ秋成ヲ祝ス午前十一時ヨリ始マル
 三所三所下下條條ニ詳ナリ所ノ娼妓一様ノ装ヲナシ手ニ
 花枝ヲ持チ二行ニ排列シ歌舞シテ行ク繼テ那
 覇四村及ヒ久米村ヨリ種種ノ物狀ヲ摸造シ之
 ヲ竿頭ニ掲置シ神田山王祭ノ鏡太鼓ヲ節和シ
 隊ヲ分チ那覇街上ヲ巡行ス畢リテ在勤公館下
 ニ於テ東村西村ノ壯丁東西ニ分レ大綱長廿六
 尺廻リ九ヲ牽ク奮争數刻勝ツ者聲ヲ揚ケ負ル者

十月一日更衣諸官上城
 藩王普天間宮ニ詣ル
 九月九日重陽ノ祝儀アリ諸官上城 吉日ヲ擇
 秋分各家ノ祖廟ヲ祭ル
 八月上丁ノ日孔廟ヲ祭り上戊ノ日國廟ヲ祭ル
 諸官モ亦參拜ス
 七月十三日ヨリ十五日マテ各家祖宗ノ靈ヲ祭
 ル 十四日藩王先王妃ノ廟ニ詣ル王子以下
 諸官モ亦參拜ス
 二月假閣ヲ列ネ男女群集立錐ノ地ナシ
 三月三四町沖繩ノ第一壯觀ナリ街頭左右
 ヲ逐フ

十一月冬至藩王天拜畢リ王子以下ノ諸官藩王
 ニ謁ス
 十二月八日僧侶ニ命シ國家安全ヲ祈ラシム
 二十七日歳暮ノ祝儀アリ祝部僧侶上城 除夜
 賀歳ノ餅饗ヲ供備ス
 在勤官負ノ初メテ藩王ニ面スルヤ日ヲ期シ禮
 服ヲ着シ首里ノ客舎ニ抵ル午後二時書院奉行
 來リ迎フ第三門ニ入レハ樂人樂ヲ奏ス攝政三
 司官以下門外ニ迎ヘ藩王禮服ヲ着シ聽事ニ出
 テ迎ヘ先導シテ正殿ニ至ル主客位ヲ分テ坐ス

有恒齋藏

侍臣橐盤ヲ捧ケ来リ献酬禮始ル此時樂人樂ヲ
 奏ス儀畢リテ小憇常服ヲ着シ奥書院ニ至ル藩
 王出ツ臺上三番叟ノ造リ物ヲ備ヘ土器ヲ置ク
 茶菓酒肴出ツ献酬始マル時座樂起ル門闕子弟
琉使ノ幕府ニ朝スル樂童子又献酬ス
樂ヲ城中ニ奏スル者是ナリ世子出ツ又献酬ス
 凡ソ茶ヲ供シ肴ヲ備ヘ酒ヲ行ル皆門闕ノ子弟
 ヲ用フ平常小笠原流ノ故實ヲ學ヒ坐作進退頗
 ル觀ルヘシ官員ノ任滿テ歸ルヤ藩王祖筵ヲ崎
 山別墅ニ設ク其儀城中初見ノ時ヨリ畧ス是日
 久米村ノ樂人明國ノ俗樂ヲ奏ス

風俗部

人氣温順儉樸舊章ヲ固守シ新シキニ移ルヲ欲
 セス堅忍久シキニ耐ルノ質アリテ一敗沮喪ノ
 病ナシ下等ノ農民ニ至リテハ弊衣徒跣矮屋ノ
 土間ニ起卧シ野蠻ノ風ヲ免レスト雖氏農事ニ
 勉勵シ曾テ勞苦ノ色ナシ山頭ヨリ海畔ニ至ル
 マテ開墾シ耕耘栽培遺漏アルヲ無シ官制令ヲ
 設ケ毎戸三四頭ノ羊豚ヲ畜ハシメ其糞汁ヲ蓄
 ヘ田圃ノ培養トス數ヲ闕ク者ハ贖錢ヲ出サシ
 ム士商ハ男逸シ女勞ス婦人絃歌ヲ善スル者少

シ男子ハ貴賤ト無ク歌舞ヲ為ササル者ナシ
 乘馬ヲ好ミ農人モ善ク馬ヲ馳ス各間切ニ馬埒
 アリテ二三月間舊曆ヲ以テ算スニハ群馬ヲ會集シ之
 ヲ驅馳シテ娛樂ス是ヲ馬寄ト稱ス此馬埒ハ獨
 リ馬ヲ調スル為ノニ非ス各地多クハ天水田
 ナレハ收穫ニ便ナラス故ニ刈取りシ稻ヲ埒中
 ニ曝ス且秋成ノ後各村ノ男女馬埒ニ集リ一年
 中農務ノ勤惰作毛ノ多少ヲ比較シ甲乙ヲ定ム
 甲ヲ得ル者ハ賞ヲ受ケ最下ノ者ハ罰ヲ蒙ル
 夫婦相愛シ平民ト雖モ再嫁スル者稀ナリ

士族ノ女ハ親戚ノ外妄リニ人ニ面セス途上之
 ニ逢ヘハ傘ヲ以テ面ヲ掩フテ過ク鹿兒島官吏
 ノ在勤スル者其宅ニ寓スル三年家中ノ婦女ヲ
 見サルニ至ル
 婦人十六七ニ至レハ手背ニ黥ス大島德之島喜
 界島モ亦同シ
 射ヲ好ム者アリ武備ノ為ニ非ス專ラ的中ノ多
 少ヲ爭フノミ
 圍棋ヲ好ム現今上里親雲上ノ如キ國手ノ稱アリ
 屢清國ニ到リ名家ト技ヲ闘ハシ未タ一敗ヲ

墳墓圖



取ラスト云

葬式ハ一種ノ異制
ナリ人死スレハ屍
ヲ土器ニ入レ墓地
石室中ニ藏メ三年
ニ至リ其屍ヲ洗ヒ
遺骨ヲ別器ニ入レ
更ニ之ヲ墳塋中ニ
藏ム故ニ墓地定制
アリ士族ハ方十二

有恒齋藏版

間農商ハ方六間周圍石ヲ疊之ヲ造ル遙望ス
レハ倉庫ニ似タリ貧極レハ墓地ヲ賣ル一墓地
數百圓ニ至ル者アリ
官吏ノ遠地或ハ那霸ニ抵ル馬若クハ輿ニ乘ル
在勤官吏ノ首里ニ赴クモ亦然リ輿ハ昇竹ニ至
ルマテ総テ竹ヲ以テ製ス其製頗ル精巧ニシテ
輕便ナリ輿丁跣足阪路ヲ往来スル其疾キヲ飛
力如シ首里那霸ノ道路
盡ク石ヲ布ク
言語部
言語ハ今日ニ至リテハ一種ノ方言ノ如シト雖

モ細カニ推究スレハ多クハ本朝古言ノ轉訛セ
 シモノナリ藩人本朝ノ事ヲ知ル者ハ亦之ヲ諒
 知ス今之ヲ分拆スレハ十中六分我古言ニシテ
 三分ハ方言一分ハ支那ヨリ来ル者トス宮古島
 八重山島古言最モ多キニ居ル

飲食部

宴樂ヲ好ミ善ク酒ヲ飲ム酒ニ數種アリ泡盛最
 モ盛ニ行ハル之ヲ湯ニ和シテ飲ム湯酎ト名ク
 然レ氏婦人ハ古ヨリ飲酒ヲ禁シ終ニ習俗トナ
 リ苦勸スレ氏杯ヲ把ラス娼妓ニ至テモ亦然リ

四民共ニ雜穀及ヒ蕃薯ヲ以テ常食トナシ米稻
 ナ食スル者至テ少シ殊ニ肉食ヲ尚フ首里那霸
 ノ市上毎朝豚ヲ屠ル各二百余頭牛ハ一二頭豚
 膏ヲ以テ野菜類ヲ熬リ以テ朝夕ノ饌供ニ備フ
 居宅部

門地ノ人ハ首里ニ居住シ士族ハ首里那霸泊村
 等ニ散居ス久米村ハ閩人ノ遺種ニシテ皆士族
 ナリ
 市街二一ハ首里ノ真和志村町畑村ノ境ニ在リ
 一ハ那霸ノ東村ニアリ

家作園池我ト太異ナシ間マ支那風ヲ學フ各家ノ門及ヒ聽事ノ兩柱聯句ヲ朱紙ニ書シテ之ヲ貼ス其句ハ同逢堯舜世共樂太平春ノ類ナリ颶風多キヲ以テ屋舎ノ周圍石ヲ疊ミテ垣トナス屋宇低ク柱礎大ニ樓閣極メテ少シ其室ニ入ルヤ必ス坐ス絶テ椅子案等ノ設ケナシ娼家ト雖モ四圍石ヲ疊ミ士商ノ家ト異ナルヲ無シ

醫療部

醫術ハ支那ノ古法ナリ好テ劇劑ヲ用ヒテ治療ヲ施ス土人之ニ安ンシ他ノ藥方ヲ願ハス往年

英人伯德令此地ニ在ル丁數歲醫法ヲ廣メント欲シ其功驗ヲ説キ百方之ヲ勸レ氏一人モ應スル者ナカリシト云フ

娼妓部

娼樓凡ソ三所辻村娼妓凡千渡地同凡七中島同凡三百ト云フ皆那霸ノ内ニ在リ辻村ヲ上等渡地ヲ中等中島ヲ下等トス妓性概テ質直樸素悻悻善ク怒リ嬌媚ヲ知ラス絶テ娼妓ノ態無シ内地ノ商賈此ニ來ル必ス一娼ヲ迎へ朝夕ノ事ヲ委ネ且高事ヲ主管セシム歸國後娼妓其受托セラ

レシ物品ヲ賣買スルニ貴鬻賤估善ク受托ヲ守
 ル重来ノ日附托中ノ事ヲ報ス出入明晰モ偽
 騙誤謬ナシ習俗自然ニシテ特行ニ由ルニアラ
 ス亦矯飾ニ出ルニアラス

沖繩志卷二終

